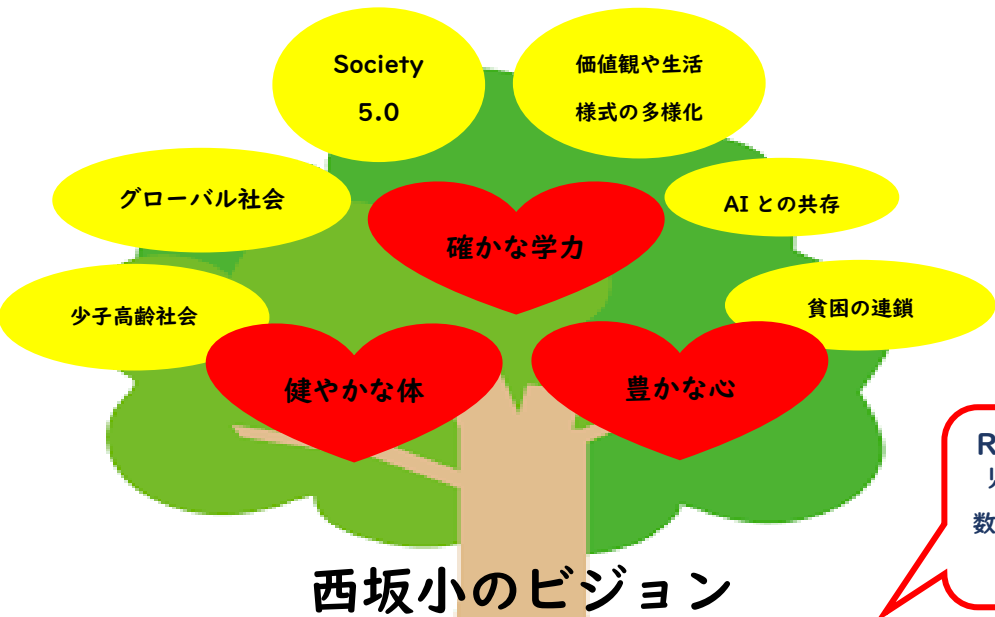


次代を生きぬく子どもの育成



長崎市の学校評価項目 すべての項目における達成率、9割以上を目指す		
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている 挨拶をよくしている 「あ・は・は運動」を知っている 教職員は悩みや相談に親身に対応している
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている
	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている
	学習指導・教育課程	学習への意欲付けができています わかりやすい授業を行っている 家庭学習の習慣が身に付いている
確かな学力	進路指導	将来の進路や職業について適切に指導している
	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている
健やかな体	体力向上	基本的な生活習慣が身に付いている 体力向上に努めている
	食育	食に関する教育活動を行っている

R 6 校内研修副主題

児童が「やってみたい、やり遂げたい」と、楽しみながら本気になる学習課題を設定する。

数値目標：児童用学校評価⑫「授業中よく考えて、最後まで分かるように努力していますか」の項目で、肯定的評価が95%以上達成できるようにする。

R 6 長崎市、長崎県、全国学力調査を受けて

学年	国語科	算数科	理科
3年	・物語文や説明文で問われていることをよく考え、文章の中から見つける活動に取り組む。 ・作文を書く機会を増やし、話を構成する力や段落分けをして書く力を伸ばす。	・かけ算九九を継続的に唱え、定着を図る。 ・文章問題に取り組む機会を増やし、複数の数が出てきたときに適切に処理する力を伸ばす。	・体験的な活動をゆとりをもって設定し、まとめや自己評価まで適切に行う。
4年	・自分の考えを書く活動を仕組むことで、記述することへの抵抗感を減らす。 ・説明文の学習では、文章の構成を捉え、筆者の意見と事実、を区別して読むことができるようにする。	・既習事項を事前に復習することで、児童が新しい単元の学習にスムーズに取り組むことができるようにする。 ・基礎的な計算問題や文章問題に継続的に取り組み、正確に速く計算したり、抵抗感をなくしたりできるようにする。	・3つ以上の複数の状況下で、条件をそろえて分析・解釈する活動に、計画的に取り組む。
5年	・選択肢がある設問の場合、どの部分が正解ではないのかなど、根拠を明確にさせた解答をさせるようにする。 ・いろいろな問題に出会わせ、対応力を身に付けられるようにする。	・下学年の学習内容も復習できるように、業外の時間や宿題を効果的に編成する。 ・いろいろな問題に出会わせ、対応力を身に付けられるようにする。	
6年	・語彙の増加、定着を目指す。 ・自分の考えを一定の条件下で書く活動を設定したり、自分の考えを発表したりする場面を多く設定し、思考力（話す・書く力）の向上を図る。	・計算や図形認知の力の定着のために基礎的な問題を解く時間を授業時間内に設定したり、スキルタイムを活用したりする。	